



測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(※)

※① 港清掃工場 3号炉 令和2年9月26日(土) 4:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で4時に144ppmを記録した。  
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定となり、燃焼空気が不足したことによる。  
燃焼空気量の調整、フィーダ及びストーカの運転による適切なごみ層厚の確保、  
クリンカロラの運転による適切な灰層厚の確保、ごみ供給量の確保を行い、  
燃焼改善を図った。その結果、正常な燃焼状況に回復した。

※② 港清掃工場 3号炉 令和2年9月29日(火) 9:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で9時に108ppmを記録した。  
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定となり、燃焼空気が不足したことによる。  
燃焼空気量の調整、フィーダ及びストーカの運転による適切なごみ層厚の確保、  
クリンカロラの運転による適切な灰層厚の確保、ごみ供給量の確保を行い、  
燃焼改善を図った。その結果、正常な燃焼状況に回復した。

令和2年度 維持管理状況(9月1日～30日)＜工場設置計器の測定結果＞より